



患者さんの作品紹介 スイカづくりにチャレンジ！

レクリエーショントレーナーと一緒にスイカづくりにチャレンジしました。8月の収穫では、丹精込めて育てたスイカを手にとると「重いね。」ずっしりと重さを感じました。

スイカは作業療法士と一緒に割りました。スイカの中身について「赤！」と予想。見事的中し、パリッと音を立てて割れたスイカはみずみずしく真っ赤に熟していました。早速、栄養科でジュースにして言語聴覚士と味わいました。「最高！最高！」とスイカ栽培は大成功したようです。



(リハビリテーション部レクリエーションセクション)

出江副院長 就任あいさつ



2023年8月より鶴巻温泉病院副院長に就任しました出江（いずみ）です。医学部を卒業してから40年間リハビリテーション科医師として働いて参りました。慶應義塾大学病院、東海大学病院を経て2002年から20年間東北大学病院リハビリテーション科の教授を務めた後、定年退職し故郷の神奈川県に戻りました。

先日、会長を務めた第60回日本リハビリテーション医学会学術集会には4700名超の参加者があり、リハビリテーション医学がこの40年で大きく進歩し医療福祉システムも発展したと感じます。一例として、脳がどのように回復して身体が動くようになるのかの理解が進み、それを促進する神経刺激装置やロボットが理学療法・作業療法・言語聴覚療法の効果を増強する手段として活用されるようになりました。また、早期離床が医療のスタンダードとなるとともに、回復期リハビリテーション病棟や介護保険制度が確立されたことにより急性期から生活期までのケアの体制が整備されてきました。

自身のこれからの課題として、最新の医学研究の成果を現場に届けるとともに現場のニーズを研究開発者に伝えることと、変化する医療環境に対応しつつ患者中心医療と職員の働きがいとを両立することを挙げました。患者さんと地域の皆さま、職員の皆さんと対話を重ねて一緒に考え取組んで参ります。どうか宜しくお願い申し上げます。

副院長 出江 紳一

鶴巻温泉病院の理念

使命 (mission)

- リハビリテーションを横軸とし、回復期、慢性期、難病、緩和、訪問の多機能を縦軸とした、全人医療・介護を実践する

共有価値観 (core values)

- 尊厳 高質 協調 思いやり 品格

将来展望 (vision)

- 地域包括ケアシステムの医療・介護の中心となる多機能慢性期病院

contents

- 患者さんの作品紹介
- 出江副院長 就任あいさつ
- 院長室より
- 患者さんの声
- 連携医療機関のご紹介
- 介護食レシピ
- 病院内のおしごと紹介
- リハビリテーション部より
- 在宅医療介護支援室の紹介
- 教えて！社会保障

夢があるから、がんばれる。

見えた一緒に
おさぼしたいよー

孫からとじきました。

鶴巻温泉病院 介護医療院

褒める練習

皆さんは職場の同僚や部下、配偶者やお子さん達を褒めていますか?褒められるとだれでも笑顔になって、少しやる気がでます。コミュニケーションもとりやすくなります。でもいざ褒めようとするとなんかどういふ風に褒めてよいか困ってしまうことがあります。私も院長になって褒めて育てようと思立ち、褒めるように努めましたが、なかなかタイミングよく褒めることができませんでした。褒めるには練習が必要だということが分かりました。そこで、院長室に右のような掲示を作って貼っています。特にネガティブフィードバックをするときはPNP（褒めて、指導して、また褒める）です。皆さんも試してみてください。



具体的に指摘して褒める

「この部分がとても丁寧な仕事をしてくれていて偉いですね。」
 「〇〇に関して良く勉強していますね。」
 「〇〇が凄く良くなりましたね。」
 「〇〇はみんなの見本です。」

全体を褒める

「とても熱心ですね。」
 「よく頑張っていますね。」
 「あなたが居てくれて嬉しいです。」

ネガティブフィードバックはPNP (Positive-Negative-Positive) で

「この部分はよくできているね」
 「でも、この点は〇〇すると良いと思うよ」
 「君ならきっとできるよ」

お知らせ

別の話ですが、WAM(医療福祉機構)の医療経営セミナーで私が講師をしています。タイトルは「やってよかった介護医療院」で、介護医療院の現状と課題を話しています。2024年2月29日まで視聴できます。よろしければQRコードからご視聴ください。



患者さんの声

ありがとう鶴巻温泉病院

「病院全体を信頼できたことはありがたかったです。」…退院患者さんアンケートのご意見より

もともと進行性核上性麻痺を患っていましたが、コロナから肺血栓となり緊急入院からの転院でした。厳しい状態でしたが優しく丁寧なプロの治療とリハビリを受けることができ、大変ありがたかったです。本人は動かない身体を2人がかりで湯船に入れてもらったことが印象的だったようです。話せるようになって初めての言葉が驚いたことに、「湯船に入れてもらった」と涙を浮かべていました。柚子湯も嬉しかったようです。本人は使えなくなっていました。スマホを持参していましたが、コロナ禍で大変な中、リハビリの時間にビデオ通話をしてくださったことがあり、病院の存在を近くに感じてとても嬉しかったです。ドクターは専門的なお話も家族に伝えてくださり、スタッフの皆さんと一緒に患者を真剣に治療してくださっている姿勢を随所に感じました。病院全体を信頼できたことはありがたかったです。退院の際は忙しいドクターも皆様で見送ってくださり、家族のような病院だと感じました。



(ご入院病棟：障がい者・難病リハビリ病棟)

サービスシステム開発室のホームページでもご覧いただけます。

連携医療機関のご紹介

医療法人 井上整形外科

井上整形外科は、昭和46年に前院長の井上昌二が開院し、令和3年に50周年を迎えました。平成11年より二代目である井上惣一郎が院長となり、地域の皆様に「親切で丁寧な医療を提供する」を理念としてスタッフが丸となって日々の診療を行っております。整形外科専門医としての長年の診療経験から、患者様に最も適した治療方法を提案することを心がけています。「患者様の心のとげまでも取って差し上げる」ことができるよう、温かく患者様をお迎えしています。本院が特に力を入れて診療しているのは①理学療法士による運動器リハビリテーションと②骨粗鬆症治療の2点です。

高齢化が進む本邦では、運動器リハビリで足腰を鍛えて転倒予防を、早期からの骨粗鬆症治療による丈夫な骨づくりが重要と考えております。地域の皆様の健康で豊かな生活をお支えできるよう、これからもスタッフ皆で取り組んでまいります。お気軽にお問い合わせください。

院長 井上 惣一郎



■診療科目：整形外科、リハビリテーション科、リウマチ内科

■住所：〒259-0133神奈川県中郡二宮町百合が丘1-1-1

■電話：0463-72-4114

■アクセス：神奈中バス「南5号前」バス停徒歩0分、小田原厚木道路「二宮インター」1分

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
8:30~11:30	●	●	●	-	●	●	-
14:30~18:00	●	●	●	-	●	※1	-



※第2、4土曜日は、東海大学医学部附属病院のリウマチ内科医による診療も行っております。

※1 12:30 ~ 14:30

病院ホームページ

介護食レシピ

コロッケとハンペンで簡単！
たんぱく質も摂れるふわふわピザ

エネルギー：314kcal
たんぱく質：19.7g
食塩相当量：2.8g

材料 (1人分)

- ・ハンペン…………… 1枚 (約100g)
- ・市販のコロッケ…………… 1個 (60~80g)
- ・ケチャップ…………… 小さじ1 (5g)
- ・しらす…………… 15g
- ・とろけるチーズ…………… 15g

作り方

- ① ボウルにコロッケとハンペンを入れてよく捏ねる
- ② ①を厚さ1cmの円形に成形する
- ③ ②にトマトケチャップを塗り、しらす、とろけるチーズをのせる
- ④ トースターで1000W・5分焼く

ポイント

- 軟らかいピザ生地であるため、噛む力が弱くなっている方におすすめです。
- 生地にハンペンを使用することでたんぱく質アップにつながります。
- トッピングはしらすやチーズ以外にもシーチキンや明太子、照り焼きソースなど様々なバリエーションを楽しむことができます。
- 塩分が気になる方はハンペンを半量にしたり前後の食事調整すると良いでしょう。



鶴巻温泉病院の施設管理室は、病院内の各種設備の維持管理と、車いすなどの器材の管理を通じて、院内にいる患者さん・ご家族・職員の皆様に快適な環境を提供できるように日々仕事をしています。

院内の設備は動いていて当然なものばかりです。自動ドアが動かなければ院内に入れませんし、エレベーターが動かなければ院内の移動に困難が生じます。他にも、照明が点灯する、トイレの水を流せるなど様々な動いて当然と思われる設備が多く存在しています。そうした設備の安定した稼働を担保するため、専門技術を持つ業者と定期点検の調整や、毎日の設備運転状況の記録などを行っています。しかしながら、予期せぬ設備の異常やトラブル

もあります。設備が多様多様なため、対応も一様ではありませんが、職員の知識や経験を持ちよって解決できるように心がけています。

また、院内各部署からの器材請求や備品の修繕依頼に対応しています。施設管理室は直接患者さんにかかわる部署ではありませんが、各部署からの依頼に対応することを通じて患者さんのために働いていると心がけて業務に努めています。

その他、防災訓練の立ち合い、職員寮や駐車場の管理なども行っております。何かお気づきの点がありましたら施設管理室までお声をおかけください。



面会制限を一部緩和しましたが、引き続きWEB面会もご利用いただけます。詳しくは病院のホームページをご覧ください。0463-78-1311 (代表)

医療法人社団 三喜会
鶴巻温泉病院

湘南メディカルセンター／湘南リハビリテーションセンター

〒257-0001 神奈川県秦野市鶴巻北1-16-1
TEL 0463(78)1311 FAX 0463(78)5955



- 地域連携室 ☎ 0463-78-1319
- 入院相談専用ダイヤル ☎ 0120-131-146
- ご意見フリーダイヤル ☎ 0120-250-646 (ペイシェント・ベル)

- 診療科：内科、脳神経内科、リハビリテーション科、緩和ケア内科、歯科
- ベッド数：一般・療養病床 505床 介護医療院 52床

- 外来診療時間 (受付時間)
【月～金】 14:00～17:00 (13:30～16:30)
【土】 9:30～12:30 (9:00～12:00)
(第1・第3・第5のみ)
休診 第2・4土曜、日曜・祝日、年末年始

- 湘南リハビリテーションセンター
回復期リハビリテーション病棟入院料 1 206床

- 湘南メディカルセンター
医療一般・障害者施設等入院基本料 55床
医療一般・特殊疾患病棟 1 60床
医療療養病棟入院料 1 120床
医療一般・緩和ケア病棟 1 25床
地域包括ケア病棟入院料 2 39床

- 鶴巻温泉病院介護医療院
I型介護医療院(I) 52床



病院ホームページ

●交通案内

●車でお越しの場合

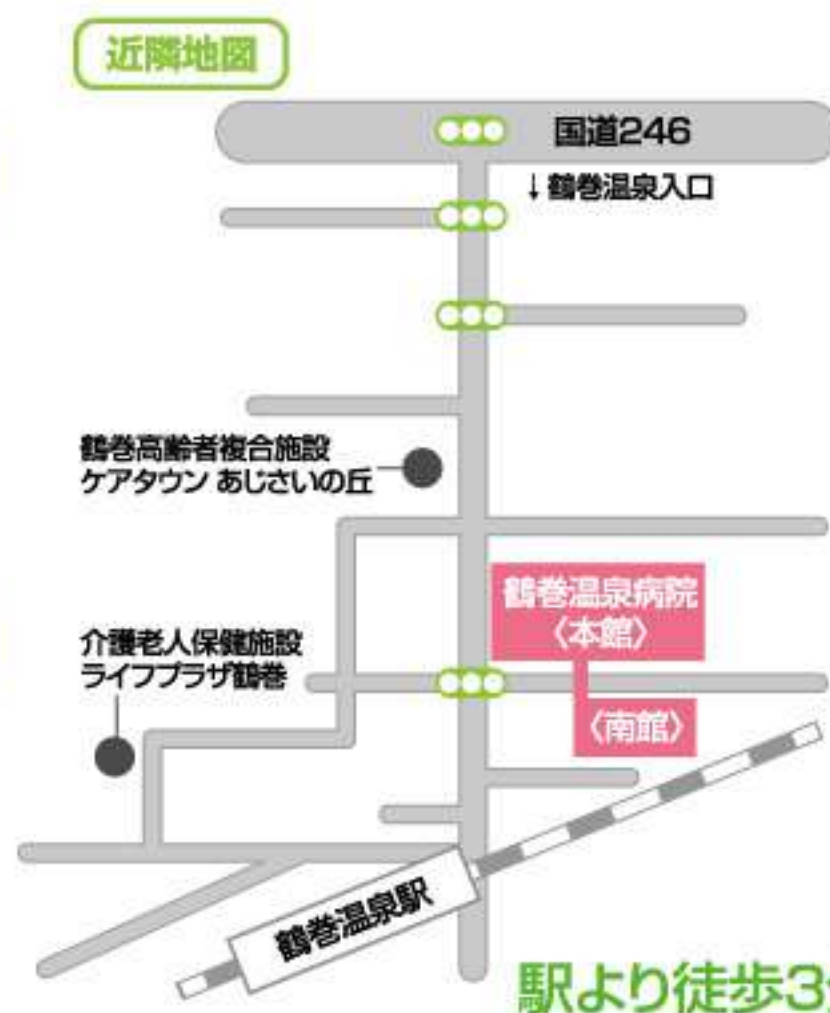


●電車でお越しの場合



鶴巻温泉駅までの所要時間

新宿から	小田急線 急行・快速急行	約60分
小田原から	小田急線 急行・快速急行	約30分
横浜から	相鉄線・海老名乗換→小田急線	約55分
藤沢から	小田急線・相模大野乗換	約55分



鶴巻温泉病院 全景

リハビリテーション部より

FIM講習会に参加してきました

FIMとは「Functional Independence Measure」の略語で、日本語でいうと「機能的自立度評価法」といいます。FIMは患者さんや利用者さんの日常生活動作の自立度及び介助量を測定することができ、日常生活動作評価の中で信頼性と妥当性が確立された評価指標です。

現在、回復期リハビリテーション病棟では、FIMを活用しリハビリテーションの効果判定が行われています。リハビリテーションの効果を適切に判断する為には、適切な評価が必要不可欠となります。

その為、当院では毎年、リハビリテーション職員及び看護師、介護福祉士がFIMの講習会に参加し、参加者が院内の職員に伝達講習を行うことで適切にFIMの評価が行えるようにしています。

今後も患者さんにより良いリハビリテーションが提供できるように継続していきます。



在宅医療介護支援室の紹介 「訪問栄養」

当支援室には管理栄養士が5名在籍しています。通院により栄養の支援を受けることができない方の自宅や施設へ訪問し、栄養相談を行うサービスを提供しております。食事摂取量や栄養状態、身体の状態を確認した上で、ご利用者さまやご家族の食事・栄養に関するお困りごとの解決に取り組んでいます。

<対象者>

- ・糖尿病、腎臓病、高血圧など食事療法を必要とする疾患がある
- ・体重の減少がある、食事が進まないなど低栄養状態である
- ・噛む、飲みこむことが難しく、困っている など

<サービスの内容>

- ・それぞれの状態に合わせた食事内容・食形態の提案や調理指導
- ・必要に応じて栄養補助食品などのご紹介 など



写真左より東海大学前駅クリニック院長 菅野 哲平 先生
当院在宅医療介護支援室 管理栄養士 村手、福田

また、当院は日本栄養士会より認定栄養ケア・ステーションとして認定を受けており、地域の健康づくりや栄養ケアのための拠点として活動しています。その取り組みの一つとして在宅での栄養相談だけでなく地域のクリニックへ出向き、外来で栄養相談を始めました。

利用者の方からは「自己流の食事管理が正しいか迷っていたけど栄養士に聞くことができてためになった」「食事のアドバイスをもらうことで励まされた。これからも続けられそう!」などの感想を頂いています。

これからも、入院患者さまと地域の方の食や栄養のサポーターとして、多職種と連携を取りながら地域の皆様の健康を栄養面でサポートしていきたいと考えています。



教えて！社会保障



前号で、生活支援コーディネーターについてご紹介をさせていただきました。
今回は、認知症地域支援推進員についてご紹介いたします。

認知症地域支援推進員とは・・・

認知症の方やその家族が安心して暮らし続けられる地域づくりを行なう専門職です。

地域のみなさんや認知症サポーターの方、医療介護の専門職など、さまざまな方と連携・協力しながら、地域の特性に応じて認知症になっても安心なまちづくりに取り組んでいます。¹⁾ 秦野市では地域包括支援センターの中に役割が付加されています。

活動内容

相談支援・支援体制の構築

本人や家族が抱え込まず、早期に相談、対応ができるよう認知症の方やその家族に対する専門的な相談を行っています。必要なサービスが認知症の方や家族に提供できるよう調整を行います。

相談の例

「一人暮らしのお母さんが、物忘れがひどくなっているようで、ご飯を作るときに火をつけっぱなしにしないか心配。一度相談してみようかしら。」



医療・介護のおよび生活支援のネットワーク構築

認知症の方にかかわる人・関係機関と協力をしながら認知症の方も暮らしやすいまちづくりをすすめるためにネットワークの構築を図ります。

認知症の症状の進行に応じた適切なケアを実現するために、「認知症ケアパス」の作成や普及に向けて取り組んでいます。



秦野市は見守りキーホルダーの配布やSOSネットワーク登録、ひとり暮らし高齢者等登録など、認知症の方たちをサポートする制度があります。

「認知症ケアパス」とは、認知症の方やその家族が「いつ」「どこで」「どのような」医療や介護サービスが受けられるのか、認知症の様態に応じたサービス提供の流れを地域ごとにまとめたものです。

秦野市では秦野市役所高齢介護課窓口、地域包括支援センターで配布をしています。A4の3つ折りのダイジェスト版を地域内の薬局や小売店などにも配置しています。



関係機関と連携した事業の企画・調整

誰もが安心して過ごせる場を作るために、認知症カフェの活動支援や認知症サポーターが地域で活動するきっかけをつくります。

生活支援コーディネーターや地域包括支援センターの職員とも協働して、高齢者が地域において役割を担うことを通じて、生きがいをもった生活を送ることを支援するための社会参加活動の体制整備を進めています。

秦野市には認知症の方や、その家族が参加できるサロンがあります。また、レクリエーションや、体操、食事ができる、いきがい型デイサービス、さわや体操会場、老人クラブ（ゆめクラブ）など、地域の通いの場があります。「介護者のつどい」という介護者同士が情報交換ができる交流の場もあります。



認知症のことで困った時は、秦野市地域包括支援センターの認知症地域支援推進員にご相談ください

引用文献1) 鶴巻地域高齢者支援センターお便り 202012Ver

参考文献：認知症介護研究・研修センター(2020)「認知症介護情報ネットワーク」

(https://suishinin.jp/suishinin/suishinin_about/index.php, 2023.7.23)